あらかわの小鳥たち　その２：春・荒川沿川の鳥を訪ねて

この冬は雪が少なかったせいか春を告げる鳥の囀り（さえずり）も早かったように思われます。

一番早かったのがキジバトで一月の初めにはあの独特のデデッポウポウという低音の囀りがありました。二月に入ると、晴れた日の雪の中からカワラヒワのコロコロビューウンという囀りが聞こえ、福島の春が近いことを教えてくれます。そのため、カワラヒワは「春告げ鳥」と呼ばれることもあります。普通、春告げ鳥と言えば誰でもウグイスを思い出しますが、このカワラヒラに気をつけてみてください。それは雪の中でのあの囀りがとても素晴らしいからです。

三月に入ると、ウグイスをはじめホオジロ、メジロ、ヒヨドリなども一斉に春の囀りを始めますが、秋に北国からやって来るカシラダカやツグミなども、留鳥に負けじと越冬先のこの日本で囀りを始めますのでぜひこれらの鳥の歌も聴いて欲しいと思います。これらの鳥の囀りはラブソングと言われています。ここで運良くメスとカップルになれば、今度は巣づくりに入ります。この頃からの囀りはテリトリーソング、いわゆる縄張りを示す囀りと言われています。地蔵原堰堤あたりではウグイスの囀りも聞かれると思いますので是非行ってみて下さい。愛嬌のあるヤマガラなどはこまめに枝移りをしながら、ツツベイ、ツツベイとおどけたような鳴き方をします。この囀りが可愛いいもので一度聞いたら忘れられないことでしょう。

同じ仲間にはシジュウカラがいます。この鳥も元気な鳥で細かく枝移りをしながら虫の卵や暖かさに這い出してきた虫を探しています。ツウピーツウピーツウピーと連続した囀りを聞くとつい数えたくなりますが、昔は20回30回と連続して鳴く鳥もいたのですが、近頃はあまり聞かれなくなりました。このほか良く見ると松の枝にくるくる回っている小さな鳥を見ることが出来ると思いますがヒガラやコガラでシジュウカラなどと同じ仲間です。

こんな鳥をみながら是非荒川べりを歩いてみてください。　（大浪　文太郎）

FAN会員募集中！

FANでは、随時会員を募集しています。FAN主催の行事への参加や企画、会の機関紙の配布等、皆で楽しみながら、川づくりを実践しつつ、会員相互の交流を図っていきたいと考えています。お申し込みは、お近くの市役所支所、市役所河川課管理係、水林自然林の荒川資料室にある申し込み用紙にご記入の上、下記の口座に年会費をご入金ください。

郵便振替
・口座番号：02240-0-91558
・加入者名：ふるさとの川・荒川づくり協議会
・年会費／個人会員：1000円

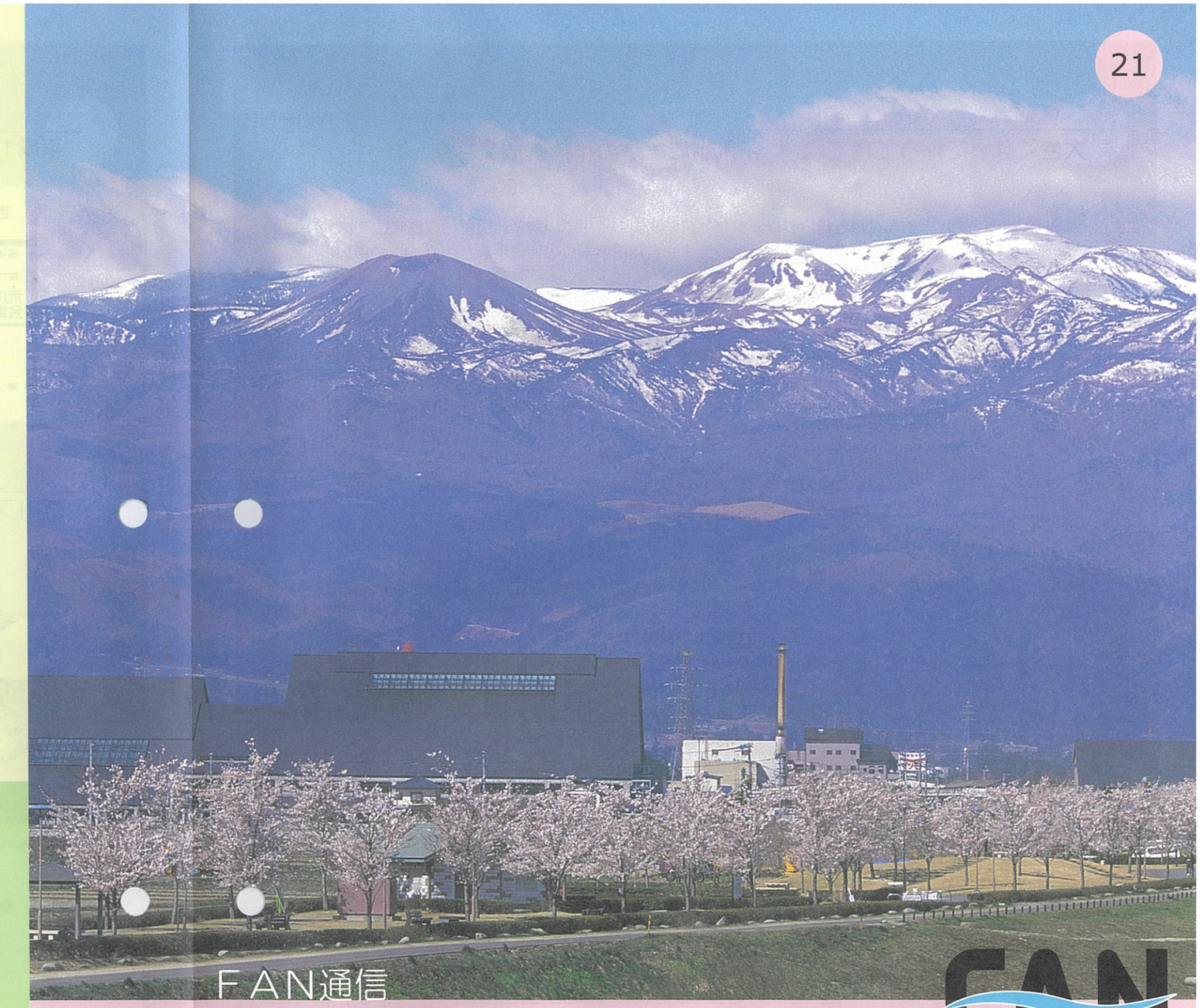
表紙写真・情報を募集しています

ＦＡＮでは、表紙を飾る写真や地域の身近な情報を募集しています。
「コラムＦＡＮ」の投稿のほか、様々な情報をお寄せ下さい。ＦＡＮ通信を、皆さんの情報交換の場としてご利用ください。

お問い合わせ

〒960-8601
福島市五老内町３－１
福島市役所河川課管理係
tel 024-535-1111　内線4152

〒960-1296
福島市松川町浅川字直道２
福島大学教育学部地理学教室　初沢敏生
tel 024-548-8168



ＦＡＮ通信

ふくしまあらかわネットワーク

（財）河川環境管理財団助成事業

2002.4